

ベラルーシ公開情報取りまとめ

(12月1日～12月7日)

2018年12月10日
在ベラルーシ大使館

【主な出来事】

- ユーラシア経済最高評議会の開催(12/6, 露サンクトペテルブルク)
- 欧州安全保障協力機構(OSCE)外相会合の開催(12/6, 伊ミラノ)

内政・外交

【ルカシェンコ大統領動静】

- 閣僚会議の高官を召集し、国営企業の活動効率向上に関する会合を開催。

(12/3, 大統領公式サイト)

- ユーラシア経済最高評議会の開催(12/6, 露サンクトペテルブルク)

ルカシェンコ大統領の発言要旨

・2025年までにガス・石油・石油製品のユーラシア経済同盟(EAEU)域内共通市場の形成が必要。EAEU加盟国はエネルギー資源の価格設定を含め、完全な域内統一市場の形成に向けて既に現時点で具体的な措置を講じなければならない。

・ベラルーシ企業向けの天然ガス料金は130ドル/1トンであるのに対し、ロシア企業向けガス料金は70ドル/1トン。ベラルーシ企業にとってロシア企業はパートナーであると同時に最大の競争相手だが、このような価格差では競争できない。

・EAEU市場における障壁や例外の撤廃という問題の解決は、許しがたいほどに遅い。EAEU内の障壁を撤廃するだけでなく、そうしたことが再発しないような条件を並行して整備することが重要。

プーチン露大統領の発言要旨

ベラルーシ向けガス料金は2018年が129ドル/1トン、2019年が127ドル/1トンであるのに対し、ドイツ向けガス料金は250ドル/1トンで、ベラルーシ向け料金ははるかに安い。

成果

ガス・石油・石油製品域内共通市場形成プログラ

ム、アルコール製品の安全性に関するEAEU技術規制、EAEU域内商品追跡メカニズムに関する協定案、EAEU創設条約中のEAEU域内への輸入関税に関する条項の修正、EAEUにおける産業のデジタル化への移行コンセプト等につき合意。

その他

会合後、ルカシェンコ大統領はプーチン露大統領と2018年中にもう一度会談する予定である旨述べ、7日、ペスコフ露大統領報道官もこれを確認。

(12/6, 7, 国営ベルタ通信, ベラパン通信)

- 集団安全保障条約機構(CSTO)事務総長人事を巡る応酬

12月6日、ルカシェンコ大統領は本件については解決済みで、ベラルーシから新事務総長を送ることになる旨発言。7日エゴヤン・アルメニア首相代行報道官はこれに反発。

(12/7, ベラパン通信)

【内政】

- メディアに関する法令の改正

11月26日付閣僚会議決定第850号により、2018年12月1日以降インターネット掲示板で発言する場合、事前に利用登録してインターネット・リソースの所有者と利用者契約を締結しなければならない。またインターネット・リソースの所有者は自らのコンテンツに対し、表示される広告も含めて内容全てに責任を負わなければならない。

(12/1, ベラパン通信)

【外交】

●欧州安全保障協力機構(OSCE)外相会合におけるマケイ外務大臣発言要旨(12/6, 伊ミラノ)

・既存のヘルシンキプロセスの精神や本質を新たな現実に適合するよう意味づけし直すことは、全世界を統合する性質の政治的プロジェクトとなり得る。

・ケルチ海峡におけるロシア国境警備局によるウクライナ艦艇の拿捕に伴い、極めて危険な全面的な紛争というレッドラインに近付いており、それを超えるともはや後戻りできなくなる。ベラルーシは、三者コンタクトグループ(TCG)の活動場所をミンスクにおいて確保することを含め、本件解決に向け最大限の努力を継続。

(12/6, 外務省公式サイト, ベラパン通信)

感染者数は26,000人以上。過去3年間で毎年2,000人~2,100人のHIV感染者が確認されている。主な感染経路は異性間の性行為(59%),麻薬の注射(30%)等。

(11/30, ベラパン通信, 露 RBK)

(了)

【治安・軍事】

●内相:ベラルーシにおけるネオナチ支持者は3,000人以上

シュネヴィチ内務大臣は代表者院(下院)の会合において、ベラルーシにおいてナチズム及びネオナチズムの活発な支持者 3,000人以上に対して調書が作成されているとした上で、他に一定数の潜伏者がいることも考慮すべきである旨述べた。

(12/6, ベラパン通信)

【経済】

【対外経済】

●第16回ベトナム・エキスポへのベラルーシ企業出展(12/5-8, 越ホーチミン)

ダブキユナス外務次官以下、ベラルーシ企業 250社が参加。

(12/5, 外務省公式サイト, 国営ベルタ通信)

【統計・その他】

●ベラルーシはHIV感染率が欧州で3番目に高い

欧州防疫・疾病管理センター(ECDC)と世界保健機関(WHO)が共同で実施した調査によれば、ベラルーシはHIV感染率の点でロシア、ウクライナに次いで欧州で3番目に高い。ベラルーシにおけるHIV